

### 3. 設計方針

#### 3.1 上位計画の位置付け

実施設計の検討においては、以下の上位計画に基づいて検討を行います。

##### 【基本構想における理念と方針】（基本構想より）

基本構想においては、本緑地の現状、自然環境の評価、上位計画における位置づけと市民要望の把握整理を通じて、「多様な自然環境」、「環境変化への対応」、「景観資源としての価値」「市民意向への対応」を着目点として、以下の基本理念が設定されています。

##### ■基本理念

“山崎・台峯緑地の優れた自然環境を守り後世に伝える”

##### ■基本方針

##### ● 鎌倉市における貴重な資源の保全

##### ① 自然環境の多様性の維持

- ・ 二次林と自然林を含む多様な植物群落と水辺の植物までが見られる豊かな植生環境
- ・ 多様な植栽基盤の上に貴重種を含む多様な動物が成育
- ・ 植生と水環境の保全を中心とした取り組みにより、自然環境の多様性を維持

##### ② 貴重種等の生育環境の維持

- ・ 生態系の上位に位置するフクロウなど多くの動物類の貴重種が成育
- ・ ハンノキ等の樹林としても鎌倉市の中では他で見ることのできない群落

##### ● 鎌倉の都市景観資源としての保全

##### ① 北鎌倉方面からの緑地景観の維持

- ・ JR横須賀線車窓や鎌倉街道の西側に見える斜面林、東側の円覚寺を含む樹林とともに、古都鎌倉の景観形成に重要な役割を果たす景観

##### ② 台峯緑地内の特徴的な景観の維持

- ・ 里山的な景観、湿地や池、ハンノキ林などの特徴的な景観、尾根道から望む円海山方面の眺望、尾根道に残る大径木のサクラなど、鎌倉の風景を体感できる景観

出展：（仮称）山崎・台峯緑地基本構想、（仮称）山崎・台峯緑地基本計画

##### 【保全・活用方針】

基本構想においては、台峯緑地の自然環境の保全のため、以下の方針が設定されています。

##### ■市民利用のための活用方針

- 線と点での利用に限定して活用する
- 活用のための利便施設、管理施設の導入は最小限に止める 等

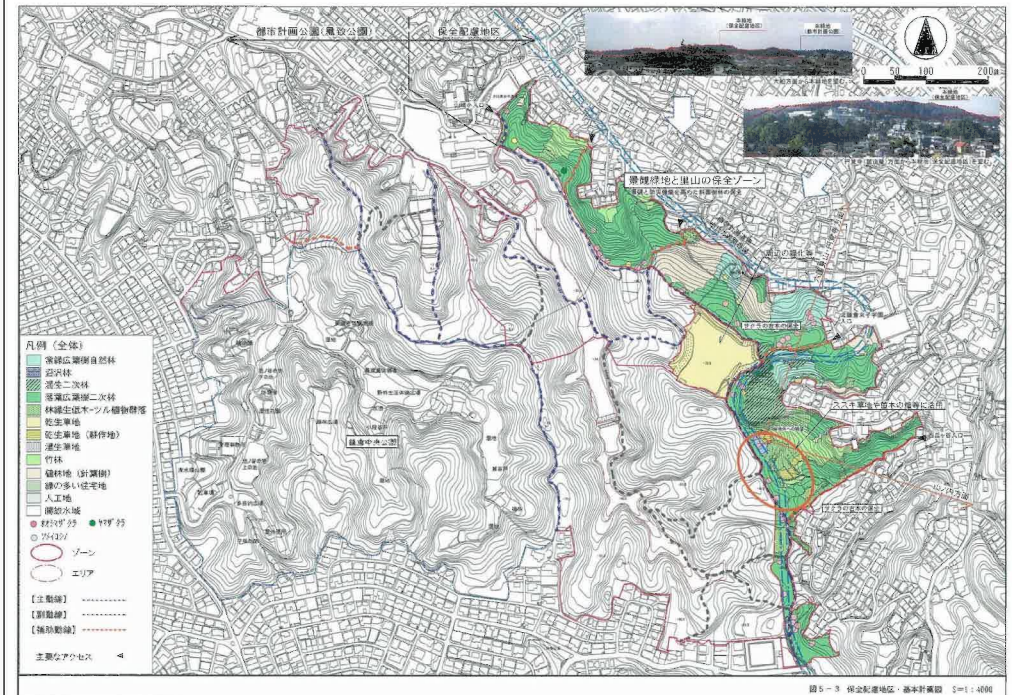
出展：（仮称）山崎・台峯緑地基本構想

##### 【ゾーニング】（基本計画より）

本基本設計の対象範囲は、「景観緑地と里山の保全ゾーン」に位置付けられています。

##### ※景観緑地と里山の保全ゾーン

- ・ 北鎌倉の景観を形作る斜面緑地を適切に保全し、尾根筋に残された里山の環境・景観を保全するゾーン
- ・ 尾根筋の一部の区域において、歴史的な経緯を踏まえ、茅場、畑等の再生を行う。



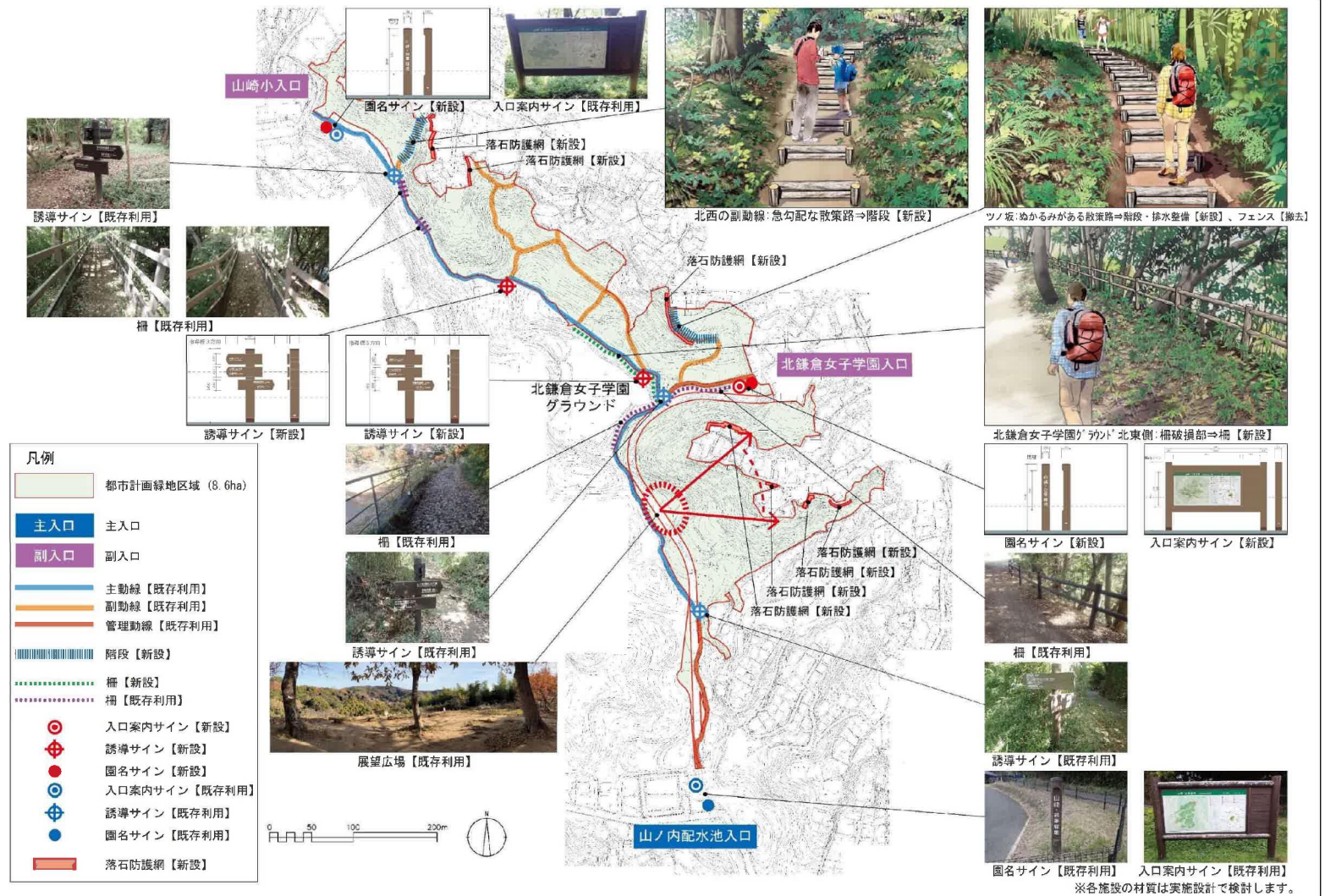
出展：（仮称）山崎・台峯緑地基本計画

【全体計画図】（基本設計より）

本実施設計においては、基本設計にて検討した各施設の整備方針に基づき、測量調査を実施し、詳細な整備範囲や材質などを決定する。

●基本設計で検討した主な項目

- ・ 散策路
- ・ 階段・柵
- ・ サイン
- ・ 展望広場
- ・ 落石防護網
- ・ 植生の維持管理



出展：山崎・台峯緑地（都市緑地）基本設計